

東南アジアで、デング熱に感染する人が増えています！

横浜市では、一週間に、海外旅行によるデング熱の患者が5例報告されました！
(本研究所の遺伝子検査で確認)
海外へ出かける方は、蚊に刺されないよう、注意してください。

全国及び横浜市の発生状況

< デング熱はどんな病気？ >

デングウイルスを持った蚊(主にネッタイシマカとヒトスジシマカ)に刺されることによってかかる感染症です。地球温暖化に伴い、媒介する蚊の生息域が拡大し、東南アジアを始めとする多くの国で発生しています。症状は、突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等です。

デング熱流行地域 (出典:WHO及びCDCの情報に基づき国立感染症研究所作成 2004)

ヒトからヒトへの直接感染はありませんが、発病前日から5病日は、患者が蚊への感染源になる可能性がありますので、流行地から帰国しデング熱にかかっている可能性のある方は、蚊にさされないように注意してください。

一過性熱性疾患であるデング熱と、適切な治療が行われないと死に至ることもある重症型のデング出血熱の二つの病態があります。

デングウイルスには、4つの型があり、かかった型に対しては終生免疫ですが、6か月もすると他の型に感染する可能性があります。この場合、デング出血熱になる確率が高くなるといわれています。(海外に長期滞在する方は、特に注意が必要です。)

日本では、国内発生例はなく、単発の輸入例が続いています。

デング熱(感染症情報センター)

デング熱(厚生労働省検疫所 海外感染症情報)

< デング熱を予防するには >

予防接種も予防薬もないため、蚊に刺されないようにすることが、唯一の予防法です。

蚊にさされないよう注意しましょう。(厚生労働省検疫所のチラシ)
戸外へ出かけるときには、念のためできる限り長袖、長ズボンを身につけましょう。
露出している皮膚には虫除けスプレーなどを使用しましょう。
網戸や蚊帳等を使用しましょう。(都市部でも注意が必要です。)

デング熱は、感染症法の四類感染症に定められており、診断した医師は、直ちに、最寄の保健所へ届けることになっています。

届出基準 届出様式